



2020年12月25日

株式会社FUJI

## 独立行政法人 国際協力機構が発行する 「JICA 新型コロナ対応ソーシャルボンド」への投資について

株式会社FUJIは、資産運用を通じた社会貢献と2015年に国連が定めた持続可能な開発目標(SDGs)達成への取り組みとして、独立行政法人国際協力機構(以下「JICA」)が発行する「JICA 新型コロナ対応ソーシャルボンド」への投資を実施いたしました。

JICAは、日本政府の定めた開発協力大綱に則ってODA(政府開発援助)を実施する世界最大の二国間援助実施機関です。JICAが発行する債券への投資資金は有償資金協力事業に充当され、開発途上地域の経済・社会の開発、日本及び国際社会の健全な発展のために活用されます。

このたび当社が投資を実施した「JICA 新型コロナ対応ソーシャルボンド」の発行により調達された資金は、開発途上国における新型コロナウイルスを含む感染症対策(保健医療システムの整備、水・公衆衛生環境の改善)及び新型コロナウイルス感染拡大により経済的影響を受けた開発途上国の中小企業等向けの金融支援を目的とする有償資金協力事業に充当される予定です。

JICAが発行する債券への投資は、開発途上国の貧困削減・持続可能な経済成長支援を後押しする観点、また、地球規模の環境問題・社会課題の解決に貢献することで持続可能な国際社会造りにつながるという観点から、ESG投資としての性格・意義を有しています。

今後も、株式会社FUJIは持続可能な社会の形成に向けた活動を通じて、社会の公器としての責任を果たしてまいります。